

行政評価シート(事後評価)

コード 2-3-1	事務事業名 公共施設の保全	所管部課 総務部建築営繕課
--------------	------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	公共施設が完成してからも、長期に渡ってその機能を維持しつづけるとともに、様々な条件によって機能が低下することを防ぐため、「施設保全調査」を行い、施設の状況のデータベースを作成する。そして、保全を計画的かつ効率的に実施し、ライフサイクルコストの低減等に積極的に寄与するため、「施設保全計画」を作成する。(西東京市建築営繕事務要領 施設保全ガイドライン)	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等		
	建築物の耐震診断、建築部位・設備機器の劣化診断及び劣化状況評価等の施設保全調査を行うとともに、保全の実施内容、予定年度及び概算額を施設ごとに設定した施設保全整備計画の作成を行う。 また、日常の点検・保守・運転・監視等の注意点や方法を示した施設保全マニュアルを作成し、施設保全指導を行う。		
事業開始時期	20 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			0	0	0
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	内:その他( )					
認識	一般財源		0	0	0	21,420
	所要人員(B)	人				0.50
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	0	4,081
	臨時職員等賃金(C')	千円				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	0	0	25,501
	単位当たりコスト (E)=(D)/(施設保全調査実施数)	千円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	79

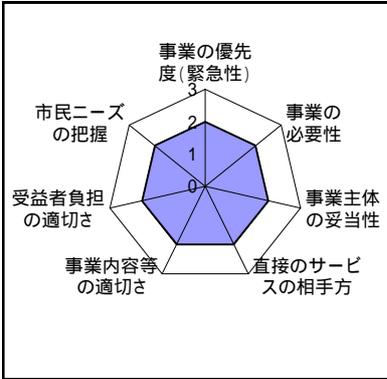
評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度	
	施設保全調査実施数	実績値	施設					323
施設保全計画設定数	実績値	施設					100	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 施設保全調査を行い、施設の状況のデータベースを作成した施設数。建築物全323施設を目標とする。 保全の実施内容、予定年度及び概算額を設定した保全整備計画施設数。年20施設5年間100施設を目標とする。								
評価指標の設定	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度	
	一次	保全事業対象施設数	目標値	施設				38
		実績値	施設					38
	二次	施設不具合発生件数	目標値	件				0
実績値		件					1	
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)計画的な施設保全による財政負担の平準化が望まれる。保全事業対象施設の緩やかな増加を目標とする。 (二次)保全的な措置を行わないと、施設運営に支障をきたす状況が生じる。重大な不具合の発生件数0件を目標とする。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	自治体の共通課題として、財政状況が必ずしも良好でない中、多くの公共施設が更新時期を迎え、近い将来、その費用が集中化する問題がある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	武蔵野市、小平市で公共施設保全計画を策定している。東京都建設行政協議会を主催とした複数自治体の共同研究により、ストックマネジメント研究会を設置し、公共施設維持・管理・更新に関する標準化を検討している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

コード 2-3-1	事務事業名 公共施設の保全	所管部課 総務部建築営繕課
--------------	------------------	------------------

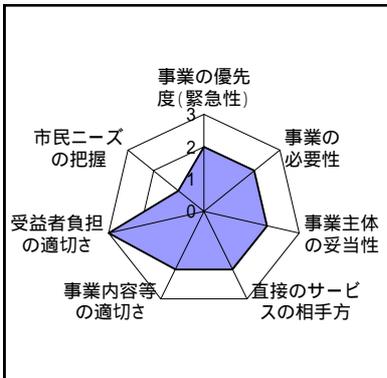
### 【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>施設の修繕や改修といった予防保全的な措置は、施設の良好な維持・管理を図るだけでなく、省エネルギーや運用コストの削減等にもつながるもので、予防保全的な措置を十分に行わないと、施設の機能や利用環境が損なわれるなど、施設運営に支障をきたす状況も生じることから、計画的に修繕や改修を図る必要がある。</p> <p>しかし、今後必要とされる施設の改修や建替えを、そのまますべて実施することは、今後の市の財政状況を考えると、極めて難しいと言わざるを得ない。そこで、保全を行う上での課題として、改修をして延命化を図るべき施設と、建替えるべき施設とを厳選し、それ以外については施設の廃止についても具体的に検討する必要がある。よって、管財課の公共施設の適正配置・有効活用との関連が重要となる。</p>
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	2		
直接のサービスの相手方	2		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	2		
市民ニーズの把握	2		



### 【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>多くの公共施設が、今後、更新時期を迎える中で、ライフサイクルコストの低減に向け、公共施設保全計画を作成することの意義は大きいと考える。施設により経年劣化の状況にも差異があると思われるので、施設保全調査の結果を踏まえた公共施設保全計画の策定が望まれる。</p> <p>また、公共施設の適正配置・有効活用のあり方との整合を図りつつ、引き続き関係部署と連携し検討されたい。</p>
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	2		
直接のサービスの相手方	2		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	3		
市民ニーズの把握	1		



### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>施設保全には多額の費用がかかるが、厳しい財政状況の中、今後多くの公共施設が更新時期を迎えることを鑑みると、各施設の状況だけでなく、公共施設全体のあり方を踏まえた公共施設保全計画の策定が必要である。今後は、公共施設の適正配置・有効活用の方向性に留意しながら、施設保全調査の結果を踏まえ、関係部署との連携により公共施設保全計画の策定を進められたい。</p>